



○部分隆起部



●「弘法の枕石」・お地藏さん等住民達の想いが詰まった石



●「弘法の枕石」引き揚げ作業



●ダムの湖底から姿を現した「弘法の枕石」

弘法大師（空海）が於呂閉志神社（奥州市胆沢区若柳）を訪れた際、横になり、一夜の休息を取ったとされる「弘法の枕石」が、石淵ダムの湖底から引き揚げられた。地域住民の長年の想いにより、ようやく実現された。阿部さんに引き揚げ実現への想いを聞いた――。

# おらほのちから 第2回

## 地域住民の“想い”かなう

「胆沢区愛宕地区振興会」  
会長 阿部 市郎さん



「弘法の枕石」除幕式

10月7日（日）、市道谷子沢大平野線の展望広場で、「弘法の枕石」及び建立碑の除幕式が盛大に行われた。建立碑には、引き揚げ及び移設作業の達成に尽力された、「胆沢区愛宕地区振興会」会長・阿部市郎さんの「千思万感」という、熱い想いが綴られている。

### ○「弘法の枕石」及び建立碑の除幕式

「胆沢区愛宕地区振興会」や地元の建設業者などで行われ、枕石は、13年度完成予定の胆沢ダム上流の市道沿いの展望広場に移設された。移設された距離は約3キロメートル、高さにして約60メートルとなった。枕石の他に、地域住民の想いが詰まった、様々な石が水没しているダムの水を使用することに、地権者や住民は心が痛んで止まらなかった。枕石と共に様々な石も引き揚げられたことで、心穏やかに、このダムの水を使用することになり、皆が非常に喜んでいいる。引き揚げ及び移設の成功には、同振興会の精力的な働きかけ、住民の協力も大きかったが、やはり、胆沢ダムを管轄する国土交通省からの了承、何度も折衝にあたって頂いた市等、行政の多方面に渡る協力があったお蔭で達成することができたと思っている。



「弘法の枕石」移設場所・ルート



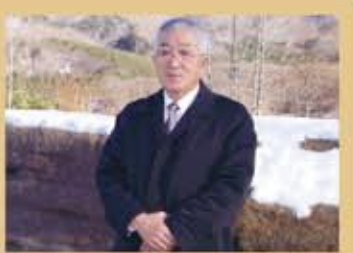
●「弘法の枕石」建立碑

千思万感  
その昔、弘法大師が猿岩山頂の於呂閉志神社に参詣した折りに一夜を臥したと言われお多くの人々より弘法の枕石と称され、祈願されてきた。重量十五トン余りの巨石であります。この度の胆沢ダム完成により永久に湖中のものとなるため、ここに各位の協力のもとに石淵ダム湖底から難を究めつつも引き上げ移設したものであります。  
平成二十四年十月七日  
奥州市胆沢区  
愛宕地区振興会  
会長 阿部市郎

○「弘法の枕石」の由来  
今から1200年程前、当時40歳位だった弘法大師（空海）が、於呂閉志神社の奥宮を参拝した折りに、仙北街道の長い道中で安全祈願をした。その際、ちょうど頭に当たる部分に枕のような、縦15センチ、横38センチ程の隆起のある、大きな平たい石で一夜を臥したと伝えられている。  
それ以来、地域の住民達は、この枕石をずっと心の支えとして、良いことがあっても、悪いことがあっても、この石に手を合わせ、代々大切に受け継いできた。ところが、昭和28年に、石淵ダムが完成し、枕石が湖底に沈むこととなった。その当時、地域の住民達は、この枕石を他の場所へと移設したい旨を訴えたが、このように大きな枕石を運ぶ重機がある訳でもなく、止むを得ず移設を断念した。その後、60年余りに渡ってダムの湖底に沈んでいたが、新たに胆沢ダムが建設されることになり、石淵ダムが水没する前に、この絶好の機会を逃してはいけないと、引き揚げを決意した。

### ○於呂閉志神社とは

古くから、地域住民達から心の支えとされており、胆沢町となる前の若柳村と言われた当時は、村社とされていた。猿岩の頂上には、弘法大師が道中の安全を



●「愛宕地区振興会」会長 阿部市郎さん

阿部 市郎さん プロフィール  
長い間、愛宕地区振興会の理事、副会長を務め、平成20年より、愛宕地区振興会会長となる。現在も、会長として地域振興のために精力的に活動している。

祈願した奥宮があり、「弘法の枕石」はそのすぐ下にある。現在でも、住民にとっては心のよりどころとなっている。

### ○引き揚げから移設への働きかけ

石淵ダムの湖底には、60年余りの間、「弘法の枕石」はもとより、お地藏さんや、山の神等、地域住民の想いが詰まった、歴史ある様々な石が水没してきた。「地権者の会」及び「仙北街道を考える会」も、これまでも、国土交通省や市の方へ枕石の引き上げ及び移設の要請をしてきたがかなわなかった。後に、「胆沢区愛宕地区振興会」も要望書を提出してきたが、枕石の学術的な裏付けがないこと、予算的にも難しいということもあり、行政上認められなかった。そこで、同振興会の働きかけで地域住民の協力も得て、大々的に、枕石の引き揚げ及び移設運動をする運びとなった。

### ○「弘法の枕石」の引き揚げ及び移設作業

石淵ダムは、年に1回、保守点検のためにダムの水を干す。その時に「弘法の枕石」が顔を出すため、地域住民は、遠目に見るか、ダム関係者等から許可を取り付けた上で、近くへ見に行くことができる。その際、枕石の大きさや重量等の調査をすることができた。全体を測量した結果、縦2メートル、横4メートル、深さ1メートルで、枕部分は縦15センチ、横38センチ、重量約15トンであることが分かった。  
9月7日、12月から始まる胆沢ダムの試験湛水の前に、地域住民の見守る中、

### ○「弘法の枕石」へのこれからの想い

色々な新聞や雑誌等で、この度の「弘法の枕石」の引き揚げ及び移設作業についての記事を紹介して頂いた結果、有難いことに、枕石について多方面から問い合わせがきている。市道谷子沢大平野線が開通した際には、枕石が展望台に移設されたことで、この展望台を胆沢区の新しい観光の拠点として、様々な行事を盛大に行うことができるだろうと期待している。これを機に、地元の方はもとより、県外の方々にも沢山来て頂けるようになるものと信じている。そのためにも、「胆沢区愛宕地区振興会」の振興会便りに枕石の記事を載せたり、胆沢区や奥州市の方へも、県内及び県外も含めて、この枕石を多方面に渡ってどんどん発信していったらえるように働きかけている。また、若い世代には、これからこの「弘法の枕石」を、大切に次の世代へと伝えていって欲しいと願っている。  
最後に、長年の地域住民の想いがかなったことに心から安堵するとともに、「弘法の枕石」の引き揚げ及び移設作業に関して、地域住民の方々及び行政の方々、その他協力を頂いた沢山の皆様方に深く御礼申し上げます。

奥州市胆沢区  
愛宕地区振興会  
住所：〒023-0403  
奥州市胆沢区若柳字愛宕  
155番地  
TEL：0197-49-2201  
FAX：0197-49-2050